科目名称	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅶ(小児の疾患)	学年学期	単位数	時間数
		第2学年前期	1	15
担当教員	伊藤　卓夫	授業に関わる実務経験	■ 有 （　医師　） □ 無	

【1】 授業概要

健康や障害の状態に関わらず、すべての子どものとくちょうを理解し、発達段階各期にみられる特徴的な健康障害について理解する。そして、小児によくみられる疾患と症状、治療・処置を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 子どもに起こりやすい健康障害の病態生理、症状、治療について理解できる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
□ 3. 地域の特性を看護に生かす力
■ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■ 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	小児の特徴	講義
2	内分泌・代謝	講義
3	循環器・ 消化器	講義
4	先天異常 血液腫瘍	講義
5	腎臓 アレルギー	講義
6	感染症	講義
7	神経・筋疾患	講義
8	試験	

【5】 評価方法

筆記試験と、授業・学習への取り組みによる総合評価

【6】 教科書

奈良間美穂:系統医学講座　専門分野　小児看護学2　小児臨床看護各論 （第14版） 2023 （電子版）

【7】 参考書

随時紹介

【8】 受講生へのメッセージ

子どもに起こりやすい健康障害について学び、看護につなげましょう。